

(平成 30 年 3 月試験研究業務月報)

タスクチーム活動：稲発酵粗飼料（稲WCS）の高品質化

情 報

## **稲WCS<sup>※1</sup>の高品質化を目指して連携会議を開催**

当センターと南丹・中丹東・中丹西・丹後農業改良普及センターで構成するタスクチーム<sup>※2</sup>は、連携会議を開催し、畜産農家、WCS用稲栽培農家や関係市町職員等の52名が参加しました。

会議では、8カ所のモデルほ場の稲の生育成績と稲WCSの品質結果を報告し、その結果を基に作成した栽培ごよみを説明しました。また、畜産農家から「水田での保存は稲WCSに水が入る」、「完熟で収穫した稲WCSを給与するとモミのほとんどが糞に出るので早めに刈って欲しい」等の要望が出され、畜産農家のニーズに応じた高品質な稲WCSの栽培に向けて活発な意見交換が行われました。

当タスクチーム活動は平成30年度が最終年度となりますが、本会議での意見や課題を踏まえ、高品質な稲WCSの生産拡大に向け活動を継続します。

※1 稲WCS：葉・茎部分も含め稲全体を収穫して、密封し、サイレージ化した牛の餌

※2 タスクチーム：研究機関と普及組織が連携して、モデルほ場の設置等の手法を用いて現地課題を早期に解決する活動



栽培ごよみ説明の様子



意見交換の様子

畜産センター